

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌



ひろしまアニメーションシーズン2026
HIROSHIMA ANIMATION SEASON 2026



前回大会ゲストのみなさん



アーティスト・イン・レジデンス
山村浩二



プロデューサー
土居伸彰



共同プロデューサー
宮崎しずか



審査員
ジョルジュ・シュヴィッツゲーベル氏

特集

ひろしまアニメーションシーズン
募集はじまる！ひろフェス始動！

ひろしまアニメーションシーズン(HAS)2026のコンペティション、ひろしまアーティスト・イン・レジデンス(H-AIR)の募集が12月1日からはじまりました！メディア芸術、音楽、ダンスの文化を育てるひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)始動です！

HAS2026テーマは「風」 広島にアニメーションの新たな風が吹く！

2022年から2年に1度開催される「ひろフェス」も2026年で第3回を迎えます。「コンペティション/アカデミー/アワード」を三本柱として、才能の発掘や交流、世界の素晴らしい作品との出会いの創出に毎回工夫を続け、広島で芸術文化を感じられる豊かな場となりました。

ひろしまアニメーションシーズンは米国アカデミー賞公認となり、前回同様「短編/長編/環太平洋・アジアユース/日本依頼作品」の4部門で審査されるコンペティションのうち短編部門グランプリは米アカデミー賞短編アニメーション部門への応募資格を得ます。過去2回とも世界中から2000を超える作品応募があり、そのなかから選考された優れたアニメーション作品を広島で観ることができます。今回、審査委員に『ダーウィンの手記』で第1回グランプリを受賞したスイスの巨匠、ジョルジュ・シュヴィッツゲーベル氏の就任が決まりました。どのような作品が審査を通過して受賞するのか、期待も高まります。ひろしまアーティスト・イン・レジデンス

(H-AIR)では応募者から選ばれた招へいアーティストが約80日間、広島に滞在し、作品制作にも取り組みながら市民や学生とのワークショップを行います。広島に関心を持ち滞在するアーティストとの交流で、私たちも広島の再発見ができるのではないのでしょうか。

今回の映画祭のテーマは「風」。2022年「水」、2024年「土」とそれぞれテーマに応じたプログラムが組まれました。今回どんなプログラムなのか、広島の街に吹く風を感じるようなプログラムがあるのか、楽しみです。揺れ動く世界や時代の風潮を考えると、このテーマはとても大切なものとも言えます。いま、日本各地で国際アニメーション映画祭が増えている中で広島は長くアニメーション映画祭が行われてきた歴史をもつ地です。歴史の蓄積は「いま」に繋がります。平和も歴史を受け継ぎ未来へと渡していくように、2026年夏、広島にどんなアニメーションの新たな風が吹くのか楽しみでなりません。

<開催概要> 2026年8月1日～9月6日開催！ 第3回ひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)



第3回
ひろしま
国際平和文化祭
HIROSHIMA FESTIVAL 2026

【コンセプト】 “平和の種をまき、次世代を育てる”

【開催期間】 2026年8月1日(土)～9月6日(月)

8月4日(火)～12日(水)「ひろしま国際指揮者コンクール」

8月19日(水)～23日(日)「ひろしまアニメーションシーズン」

8月22・23日(土・日)、29・30日(土・日)「ひろしまダンスコンペティション」をメイン事業に、広島市内を中心に様々な文化イベントが溢れる一ヶ月。地域の文化団体等が主催するコラボ・共催イベントも開催！

【会場】 JMSアステールプラザほか

公式サイト ①ひろしま国際平和文化祭

②アニメーションシーズン

<https://hiroshimafest.org/>

<https://animation.hiroshimafest.org>

※国際指揮者コンクールとダンスコンペティションは、①のサイトメニューのリンクよりご覧ください。

①



②



特集2 秋のメディア芸術イベントレポート

ポップカルチャーひろしま2025 ～国際親睦の架け橋をめざして～

saki

10月18日(土)・19日(日)/NTTクレドホール

2017年から毎年開催されているアニソン・コスプレをテーマにした国際交流イベント「ポップカルチャーひろしま」。今年は新たにバングラデシュを参加国として迎え、14の国や地域からゲストコスプレイヤー28名を招致し、盛大に行われました。

初日は、海外ゲストコスプレイヤーと地元有志のコスプレイヤー約100名による本通り商店街のパレードからスタート。カラフルな衣装に身を包んだコスプレイヤーたちが商店街を訪れる人々に手を振る姿が印象的で、和やかな雰囲気の中、イベントが幕を開けました。

パレードがNTTクレドホールに到着したのちは、各国の予選を勝ち抜いた海外コスプレイヤーによるステージパフォーマンスの披露や、声優・田中ちえ美さんのトークショー&サイン入りポスターが当たるじゃんけん大会も開催。さらに、金管合奏団や弦楽四重奏のアニメソングコンサート、予選を勝ち抜いた国内アニメファンによるアニソンカラオケコンテスト、安芸ひろしま武将隊の武士パフォーマンスや撮影会、平和文化センターによる原爆VR体験、コスプレ撮影交流など多岐にわたるコンテンツが用意され、日本の文化とポップカルチャーの融合と交流を体験する機会を2日間にわたり参加者に提供しました。

イベント2日目には、海外ゲストが原爆ドームやおりづるタワーを訪問。また、イベント終了後には、オプションツアーとして平和記念公園と平和記念資料館・ひろしまゲートパーク・広島城を巡るツアーが行われ、ボランティアガイドの説明を受けて「平和があるからこそ、私たちはコスプレを楽しめる」という感想を持ったゲストもいました。

この「ポップカルチャーひろしま」が、国際親睦の架け橋となることを期待しています。

- ポップカルチャーひろしま公式サイト ⇒ <http://www.pophi.jp/>
- X(旧Twitter) ⇒ https://x.com/hpc_2018
- Instagram ⇒ https://www.instagram.com/pchiroshima_2024/



フクヤマニメ8 ～ハロウィーンの風物詩として馴染んだサブカルのお祭～

まんが工房元氣堂BINGO 戸田幸子

10月18日(土)・19日(日)/福山駅周辺+みるくの里 各会場

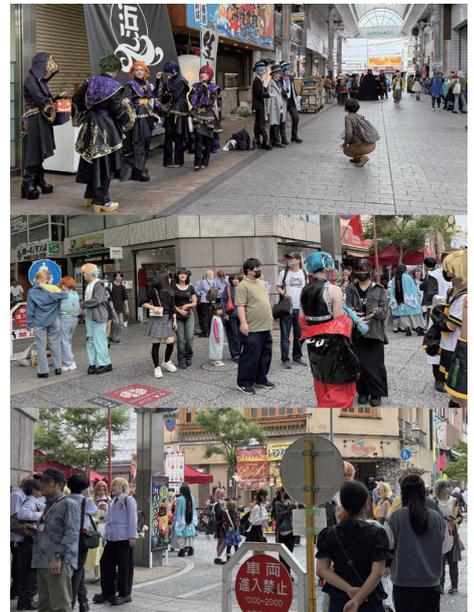
福山の街ぐるみ複合イベント「フクヤマニメ」は今年もハロウィーンの頃、10月18・19日に開催されました。お馴染みのコスプレ、アニメ上映、ボカロ・アニソン、同人誌即売会、サバゲー、プラモ・フィギュア、痛車、各種トークショーに加え、古着、競輪、墨絵などの新機軸もお目見え、各商業施設で様々な催し物が行われました。規制が厳しくなっている昨今、お城を含めた福山駅周辺と郊外の遊園地みるくの里からなる広い範囲でコスプレした人たちが楽しく過ごせること自体とても素晴らしいのですが、加えて受け入れる街のお店や企業も推しキャラのコラボ商品の販売や、コスプレ姿を記念3DスキャンしてARとして楽しめるサービスを行うなど、一緒に盛り上げる動きも見られるようになり、本イベントが地元根付いてきていると感じます。

フクヤマニメと言えば、定評のあるアニメコンペティションも見どころです。イベント初日の夜、応募作品から5作品が上映され、この中からダイヤモンドグラミネーションに結城一成さんの『ミチノク峠』が選ばれました。完成度の高い画像とそういう見せ方があるのか!という驚きがある力強い作品で、審査員の先生たちを唸らせていました。また、審査員特別グラミネーションには去年も受賞した井上やまとさんの『収集家 ～あの宝? を追え!～』が選ばれました。自由奔放でアニメーションの根源的な楽しさに溢れた魅力的な作品で、会場に集まった観客の皆さんが去年小学生だった井上さんが中学生になって応募した作品、その成長を楽しみにしているのが感じられました。来年もフクヤマニメに来れば、また彼らの作品に出会えるかもしれません。楽しみに待ちたいと思います。

▷受賞作品はこちらで

<https://fukuyamanime.jp/event2025/animecompe-awards/>

- フクヤマニメ公式サイト ⇒ <https://fukuyamanime.jp/>
- X(旧Twitter) ⇒ https://x.com/fukuyama_nime
- Instagram ⇒ https://www.instagram.com/fukuyama_nime/



審査員特別グラミネーションを受賞した井上やまとさん(左端)

史上初！ 国宝 不動院金堂へのプロジェクションマッピング

HAC 松田智仁

11月1日(土)・2日(日) / 真言宗別格本山 安国寺 不動院

広島市東区の国宝不動院金堂において、「不動院プロジェクションマッピング 一光でつなぐ歴史とみらい」と題して映像イベントが開催されました。比治山大学とエリザベト音楽大学のコラボによる「世界に通用するメディアアートを作りたい!」という学生プロジェクトです。比治山大学短期大学部美術科の学生が映像を、エリザベト音楽大学の学生が音楽を担当して、共創によって制作された16作品、比治山女子高校・広島市立基町高校の生徒や比治山大学付属幼稚園の園児などの作品も上映されました。

何よりも注目したのは、国宝を所有管理する安国寺不動院が若者に場を提供してくださったことです。そして、この比治山大学のご近所に立地する広島地域の宝について、若い感性が学び、映像と音楽を響かせて意欲あふれる作品を創造できたことに感銘を受けました。告知チラシやリーフレット作成、2日間に渡るイベント運営は学生たちが担い、多くの企業協賛もいただき、観客も2日で2100人と盛況でした。エリザベト音楽大学学長のお話から比治山大学の情熱が推進力となったことが見て取れました。イベント全体の企画運営を担当された比治山大学 生涯学習・地域連携センター長の宮崎しずか先生(HAC執行委員)の努力が実を結び、地域とアート、関わった人々すべてが響き合う素晴らしいイベントとなりました。

▷活動記録ムービー <https://youtu.be/ht743qibGJc?si=YaMrxOdbj-gQCzJV>



大学生による共創作品
(画像提供:比治山大学)

ポップラ劇場2025 市民野外上映会『この世界の片隅に』上映 ～戦後80年/すずさん100歳、広島の川辺は映画の物語に寄り添う～

HAC 松浦 妙子

10月26日(日) / 基町ポップラ通り(基町環境護岸)

2020年の休止から6年、待ちに待った野外上映会! 以前の夏開催から酷暑を避け晩秋開催となりました。当初予定の25日が雨予報で順延、26日も雨が時折バラつく肌寒い天気でしたが、徐々に食べる名物カレーや芋煮も美味しく、子どもたちはしゃぼん玉や紙芝居で遊び、夕凧コンサートも楽しみながら上映を待ちます。

暮れなずむ17時半から片淵須直監督と広島フィルムコミッション西崎智子さんのスペシャルトーク、18時半からいよいよ『この世界の片隅に』上映です。主人公すずさんは、昭和8年冬には海苔を繁華街(今の平和公園一帯)の料亭へ届けにここから1kmほど下流の雁木で舟から上陸します。昭和21年初には産業奨励館廃墟(原爆ドーム)の対岸に佇みます。私たちは同じ川辺の風で冷えた手をさすりながら時の流れを超え物語世界へ入り込みます。映画を観る場はさまざま。TVやディスクや配信、シネコン、街の映画館etc...それぞれ異なる体験で同じ作品でも受け取り方が変わることもあります。野外上映会は、その場の風景や空気感、音や匂いなどと映像が共鳴して感じられる稀有な映画体験です。ポップラ劇場は、広島を舞台とした作品や水にちなんだ作品など、場と作品の響き合いを大切に映画の物語に寄り添ってきました。来年もこの素晴らしい体験に出会えますように!

- ポップラ劇場市民野外上映会 ⇒ <http://poplarentsclub.web.fc2.com/pages/event.html>
- 映画『この世界の片隅に』公式サイト ⇒ <https://konosekai.jp/>



広島国際映画祭2025

～公開をただ待つだけでなく映画が創られていく過程に伴走できる愉しさ～

HAC 松浦 妙子

11月28日(金)～30日(日) / NTTクレドホール、横川シネマ、エディオン紙屋町ホール

今年で第12回(前身の映画祭からは第17回)となる広島国際映画祭は、世界の映画人を広島に招き、広島と世界を繋ぐ架け橋となる映画祭です。被爆80年を迎えた年に広島から映画の力を発信するのにふさわしく、ヒロシマの記憶の継承、広島を舞台とした作品や、第二次大戦中のさまざまな場所での戦争体験を描いた作品が多く上映されました。広島国際映画祭は「ポジティブな力を持つ作品を、世界中から集めた映画祭。」と掲げて開催されています。戦争や疫病、自然災害—その時代それぞれ人々を打ちのめすものに対して生き抜いていく強さや日々暮らす人の営みを、映像から実感し、広島を多様な視点から考えることのできる機会となりました。実写と合わせてアニメーションを効果的に使った作品もあり、映画作品自体もジャンルも決めつけず先入観なく受け入れることも必要だと考えさせられます。

作品上映のほか、監督・俳優のトークやティーチイン、映画の鑑賞のしかたワークショップ、映画作品についての展示もあります。監督・俳優トークやティーチインでは映画の作り方への真摯な姿勢も感じられ、映画をもっと楽しむヒントもたくさん見つかります。映画祭は、市民が優れた作品や作り手に接することのできる貴重な場、観客と作り手が交流して映画の未来を作り上げていく場と言えるでしょう。これからどのような作品が生まれるのか、公開をただ待つだけでなく、映画が創られていく過程に観客が伴走できる愉しさがあることも映画祭の醍醐味です。

- 広島国際映画祭 ⇒ <https://hiff.jp/>



東京国立博物館 講演会・制作資料展示ポスター

◆Event Information 載せきれなかったイベント情報はカレンダー形式でHACサイトに掲載中! → <http://hac.or.jp>

●猫十字社『小さなお茶会』マンガ超原画展
 会場:長江CUBE 33言動 & classroom(尾道市長江1-3-24)
 会期:延長会期2025年12月5日(金)~2026年2月8日(日)
 休館日:木曜、臨時休館のお知らせは長江CUBE Instagramで
 開館時間:10:00~18:00(不定休 ※会期中は無休)
 料金:大人(中学生以上)1500円、小人(小学生)700円、未就学児無料
 問合せ:株式会社おのみち08製作 藤咲
 TEL 080-3005-9524
 E-mail s-fujisaki@onomichi08seisaku.jp
 Instagram <https://www.instagram.com/nekonyokochonagaecubej/>
<https://prt看times.jp/main/html/rd/p/000000004.000169962.html>

●俳協65th×声優朗読劇フォアレゼン【広島公演】
 「総天然色 —1960年、東京の下町で。—」
 会場:はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ大ホール(廿日市市下平良1丁目11-1)
 日程:2026年1月25日(日) 15:00~
 料金:6,500円
 問合せ:0829-20-0111(さくらびあ)
<https://vorlesen.tstar.jp/>
 俳協65周年を記念した特別な朗読劇です。
 出演者:大原さやか、中澤まさとも、重松千晴、水野朔、来栖りん、望月晶(ピアノ)

●創刊50周年記念 花とゆめ展in広島
 会場:奥田元宋・小由女美術館(三次市東酒屋町10453番地6)
 会期:2026年2月19日(木)~4月14日(火)
 休館日:水曜
 開館時間:9:30~17:00(入館は閉館時間の30分前まで)
 ※満月の日は開館時間を21:00まで延長(12月を除く)
 料金:未発表
 問合せ:0824-65-0010
<https://www.genso-sayume.jp/news/8592/>

●庄原さとやまトレインオーディオドラマ「大好きなこの町で」
 実施場所:芸備線(備後庄原⇄備後落合)上下線全便の列車内
 実施期間:2025年10月25日(土)~2026年2月28日(土)
 実施内容:芸備線とコラボレーションした、広島県出身の声優、増田俊樹さんと尼子殉那さんが演じる庄原の町を巡る全9話の青春ドラマ。走行場所によって異なる話が流れます。
 料金:該当区間の乗車賃
 ※SoundARアプリ「Locatone」インストールが必要。
<https://geibiline.com/#page01>

●広島交響楽団ドラゴンクエストコンサート
 会場:東広島芸術文化ホールくらら 大ホール(東広島市西条栄町7-19)
 日程:2026年3月14日(土)
 開演時間:15:00~(開場14:15)
 料金:S席6,000円、A席5,000円 ※小・中・高校生は半額
 問合せ:082-532-3080(広響事務局)
<http://hirokyo.or.jp/concert/list/24956.html>

メディア芸術系大学・短大の卒業制作展

●第29回広島市立大学芸術学部卒業・修了作品
 会場:広島市立大学芸術学部棟(広島市安佐南区大塚東3-4-1)
 会期:2026年2月6日(金)~2月11日(水・祝)
 休館日:会期中無休
 開館時間:10:00~17:00
 料金:無料
 問合せ:082-820-1504
 E-mail kyo-gaku@m.hiroshima-cu.ac.jp
<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/news/c00090195/>
 関連企画:受賞者らによるギャラリートーク
 (第1部)2月7日(土) 14:00~16:30
 日本画・油絵・彫刻・現代表現・映像メディア造形
 (第2部)2月8日(日) 14:00~16:30
 視覚造形・立体造形・金属造形・染織造形・漆造形

●比治山大学短期大学部美術科
 第58回卒業制作展・第24回修了制作展
 会場:広島県立美術館地下1階県民ギャラリー(広島市中区上職町2-22)
 会期:2026年1月27日(火)~2月1日(日)
 休館日:会期中無休
 開館時間:9:00~17:00
 料金:無料
 問合せ:082-229-8958(担当:宇多)
 E-mail hart@hijiyama-u.ac.jp
<https://www.hpam.jp/museum/gallery/index.html>
 関連企画:映像・アニメーションコース作品上映会
 1月31日(土) 13:30~ 同会場 地下1階講堂にて

感染症対策については各施設・主催者の要請をご確認ください。前売、団体、冬休み期間中の無料・割引について詳細は、各施設サイトを参照ください。年齢等を確認できる証明書提示を求められる場合があります。障がい者手帳等をお持ちの方は無料になる施設もあります。

比治山大学 × サニクリーン共同研究事業
 こどもたちの「未来のきもちのよい暮らし」をアニメーションで応援!

アニメや体操で学ぶ!
ぴかぴか教室

きれいを体験するアニメづくり!
ぴかぴかアート教室

開催費用 無料
 ご希望の保育園・幼稚園など募集中!

お問い合わせ サニクリーンアカデミー事務局(担当:片岡)
 E-mail: info@sk-acad.or.jp Tel: 0120-01-3290

↑教室の様子はコチラ

きれいにしたい。あしたのために。

サニクリーンは「レンタル」「リサイクル」などのシステムをとおして、資源の有効活用を目指し、人としぜんにやさしいサービスと商品をお届けしています。

サニクリーン

フリーダイヤル ハロー サニクリーン
 ☎ 0120-86-3290

広島新銘菓
生もみじ



にしき堂

発行日:2025年12月26日 発行部数:5000部/発行:広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
 編集:NPO法人広島アニメーションシティ(HAC)・松浦妙子・谷口重徳・カワサキマミ/レイアウトデザイン:カワサキマミ/題字デザイン:岡川卓詩(名古屋芸術大学)
 【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局 〒730-0011広島市中区基町21-3 中国放送会館内
<http://hac.or.jp/> Email: hac-jimu@hac.or.jp

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています